

《人の間》 伊吹 ひかり

私たちの身の回りでは「エコ」という言葉が、頻繁に見られるようになりました。

エコとは、私たちにとって何でしょうか？ 自然環境、または資源の保全。一般にはそう答えるでしょう。これは間違いではありません。正解の一つです。

私は、どのような形であろうとエネルギーが循環していることが「エコ」と考えています。

では私たちに最も身近で、考えるべきエコとは何でしょうか？

それは、自分自身です。水や食べ物が美味しく、適度な運動で健康だという、身体だけのエコではありません。

笑顔や気分で感情が揺れ動き、心身ともにエネルギーが流れていること。つまりエネルギーが人の中で、あるいは人から人へ、人から自然……などと詰まることなく循環する仕組みがエコなのです。

この考えを基に、私の体験から、最低限必要だと思うエネルギーの流れを示す 16 の質問項目をあげました。

作品は 16 の質問項目に回答することで、エネルギーがどんなことで滞っているのか、また詰まりやすいのかを診断するパズルになっています。

人は相手を見ているようで見ていません。また、見ていないようで見ています。同様に、自分のことで解っていることもあれば解っていないこともあります。すなわち人はブラックボックスのような側面があります。

このことから、このブラックボックスの側面をキャラクターに見立てて描きました。

いかにすれば、このキャラクターたちは、人というブラックボックスそのものです。それは自分の化身であったり、感情の化身であったりと様々です。これらがそれぞれと関わることでエネルギーの循環に変化が起きているのです。

そしてキャラクターたちが「人の間に」という冊子の中で自問をするように言葉を投げかけています。この言葉は私が言ってほしかった言葉、言いたかった言葉、こういう事なのではないかと思った言葉です。

16 の質問事項への回答を終えた後で、問いかけのメッセージを読んでみてください。エネルギーが滞っている原因が解るかもしれません。あなたのエネルギーの循環状況を探ってみませんか？

